

第52回(令和6年度) 富山県産業安全衛生大会が 開催されました

「第52回(令和6年度)富山県産業安全衛生大会」が7月19日(金)「ゴルフアートとやま」において開催され、表彰式典および事例発表、特別講演が実施されました。

大会の内容

富山労働局長表彰

安全衛生水準が良好で改善のための取り組みが他の模範と認められる事業場として、明興工業株式会社 北陸事業所に奨励賞が授与されました。

また、長年にわたり安全衛生関係の業務に従事し、安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をされた、元一般社団法人富山県労働基準協会 高岡支部事務局長 山本達也様に、安全衛生推進賞が授与されました。

奨励賞	明興工業株式会社 北陸事業所
安全衛生推進賞	元一般社団法人富山県労働基準協会 高岡支部事務局長 山本達也 氏



事例発表

昨年度に奨励賞を受賞された東ソー・セラミックス株式会社から、管理監督者や安全推進委員が安全に対する正しい知識を持ち、現場指導を行えるようにするため、6年間の長期計画を立て、安全活動を実行中であるという発表がありました。

特別講演

株式会社エスアールシー研究所 代表取締役 塚原利夫氏から、「攻めの安全とは～ヒューマンエラー防止に向けた管理者の持つべき視点～」と題した講演が行われました。ヒューマンエラーを防ぐためには、エラーは起こるという前提で、リスクに対処する知識と技術を持つことが大切であるというお話がありました。

富山県THP推進協議会による企画

事務局である北陸予防医学協会 富山市角川介護予防センターの健康運動指導士による「ストレッチ体操」の実演がありました。

また、「健康づくり相談コーナー」では、体に蓄積されると糖化が進み、老化に繋がるといわれているAGEs(終末糖化産物)測定を実施。数値が高く出た方には、糖化予防のための生活習慣に関するアドバイスをを行いました。



講演する塚原利夫氏



健康運動指導士による「ストレッチ体操」実演

女性の活躍と健康づくりを応援! 出張型健康イベントを 紹介します

2024年9月24日、佐藤鉄工株式会社様で健康イベントが実施されました。

佐藤鉄工株式会社様は健康経営に積極的に取り組まれており、また女性職員の活躍を推進するためには女性職員自身が健康課題を認識・理解する必要があるという考えのもと、今年の全国労働衛生週間準備期間に合わせて女性職員を中心とした健康イベントを企画されました。



女性向け健康セミナー

健康イベントでは、女性向け健康セミナーと健康測定(4種類)、栄養相談、カフェのブースを設置。約40名が参加されました。

「女性に嬉しい栄養素」というテーマで当協会の管理栄養士が健康セミナーを実施した後、富山県産の無農薬野菜をたっぷり使用したお弁当と、各自の体質に合わせたお茶をカフェブースにて提供しました。参加された方からは「女性職員が集まって昼食をとることが初めてで楽しかった」「自分の体質に合わせたお茶を知ることができてよかった」「野菜たっぷりのお弁当がおいしかった」などの感想をいただきました。



男性職員も参加したAGEs測定

健康測定コーナーには男性職員も参加可能とし、AGEs(終末糖化産物)測定、記憶力・注意力測定、下肢筋力・バランス測定、体組成測定を実施しました。

測定を体験された方は、「思ったよりも筋力がなかった」「結果が実年齢よりも若かった！」などと同僚の方と結果を見比べながら楽しそうに話していらっしゃいました。

今回のイベント開催にあたり打ち合わせをさせていただくなかで、佐藤鉄工株式会社様の健康経営に対する真剣な姿勢や女性職員を大切にされていることを強く感じました。

今後も健康推進課では、労働衛生機関として健康経営に取り組んでいる、または取り組もうと考えていらっしゃる企業様のお手伝いをさせていただきたいと考えています。

健康イベントの開催や
健康経営のサポートに関しては

北陸予防医学協会 健康推進課 TEL 076-436-1281

幸せな長寿社会を目指して

富山市角川介護予防センターでは、幸せな長寿社会を生きるための講座をシリーズで開催しています。第1回の令和6年4月21日(日)には、「一人ひとりが健康で楽しく生きがいのある人生を送るには」という視点で、藤井裕久富山市長、永田義邦会長、鏡森定信医師によるシンポジウムが開かれました。第2回の7月21日(日)には、新田八朗富山県知事をお迎えし、「0次予防」の視点から、地域社会の環境の健全化について学びました。



健康講座第2回

と並ぶ五育の一つである「食育」は幼少期からの実践が大切であることや朝食の重要性について話され、「フレイル予防食」では、三食均等にエネルギー・たんぱく質を摂取し、筋肉を効率よく作ること、メタボ対策としては、揚げ物、冷凍食品、アイスクリームなどの消費を減らし内臓脂肪を減らすこと、和食は日本古来の優れた伝統食であり、やく

ぜん料理などの文化も大切にするよう述べられました。

新田富山県知事は、幼少期のエピソードや、家庭菜園を営んでいることなど日常生活の様子を披露され、場を和ませたあと、全国で二人しかいない民間企業経営者出身の知事としての経験や発想を最大限生かし、県政のトップとして県の職員と一丸となって計画的かつ迅速に県民福祉の向上・富山県の発展に邁進していることについてのお話がありました。人の真の幸せのためには何よりも人のつながりが大切であることから、知事の推進する「ウェルビーイング」と「心と体の健康を保つ場」である当センターの志がまさに一致すると評価していただきました。

最後に鏡森医師が「『寿司といえば、富山』といわれるが、寿司も立派な『やくぜん料理』。薬都とやまの伝統を生かし、寿司を入口として『幸せ人口100万』の創出・拡大に共に協力しましょう」と話され、実際に『やくぜん弁当』の試食をして盛況に終わることができました。



健康講座第1回

第1回 藤井市長、永田会長、 鏡森医師による シンポジウム

藤井市長からは、「幼少期に野山を飛び回り、草野球をした体験が現在の体力づくりの源となっている。スマートシティ政策の推進やデジタル技術の導入、データ活用による市民生活の質と利便性の向上、地域特性に応じた市全体の均衡ある発展を目指して、リアルに移動、行動交流することをモットーに幸せな長寿社会を目指して日夜邁進して

いる」とお話がありました。永田会長からは、「2日間にわたる意識不明の病気や2年間の断酒等の経験から、健康管理に気を遣うようになった。先代の跡を継ぎ、常に先を見据え、健康で幸せな人生を送るためには、今、何が必要かということを考えさまざまな事業を展開してきた」とお話がありました。「健診」(健康状況をみる)と「検診」(早期発見)の大切さの意味、「一次・二次・三次予防(個人対象)」に加えて「0次予防(地域環境を整える)」の時代へ、「予防医学」から「予防医療」への考え方の切り替え等、次々と飛び出す新しい言葉や概念に来場者の皆様も驚かれ、健康保持増進への思いを改めて強く認識された様子でした。

鏡森医師からは、サプリメントは体の不足分を補うだけのものであり、多用したから元気になるものではないという考え方、象は草をたんぱく質に変換できるが人間にその機能は備わっていないことに来場者の皆様はたいへん驚かれています。また、認知症予防の新しい薬も出ているが、健康長寿のため孤立を避けて外出の機会をつくり、それ

ぞれの地域の資源を活用し人と関わる人生を送りましょうと述べられていました。

第2回 「0次予防」の視点から、 地域社会の 環境の健全化を

第2回の7月21日(日)、新田八朗富山県知事をお迎えして地域社会の環境の健全化について学びました。冒頭、永田義毅理事長から、創業から75年、地域の健康づくりのため先代や先人の努力により築いてきた盤石な体制を進化させ、医療との連携を強靱なものとして県民の健康増進に邁進したいとの挨拶がありました。

次に、当センターの医師である金山ひとみ先生が、専門の温泉気候医学の視点に基づく「気候療法でいつまでも元気を目指す」との演題で、風・太陽・温度・湿度などの作用を治療や健康増進のために活用することの大切さをお話しされました。次に「富山やくぜんクラブ」西田秀子前会長から「食について今一度考えてみよう」のテーマでお話がありました。体育・知育・才育・徳育

スタッフを紹介します!

企画調整課

企画調整課には、社員・派遣社員合わせて10名が在籍しています。私たちは、健康診断を受ける方々の受診票作成や健康管理センターの健康診断予約受付、巡回健康診断の日程や医師の診察スケジュール調整などを行っています。



受診票作成

受診票には、健康診断に必要な個人情報が記載されています。企業担当者様からお預かりした個人情報の保護を徹底し、皆様に安心していただけるように受診票を作成しています。

健康管理センターの健康診断予約受付・巡回健康診断の日程調整・医師のスケジュール調整

受診の日程調整や予約内容の確認、受診者様のご案内などを行っています。また、巡回健康診断や医師の診察スケジュール調整の業務では、地域の企業や団体などから依頼される健康診断の日にちや時間・場所の調整を行っており、円滑に受診していただけるよう努めています。調整が難しいこともありますが、皆様のご希望に添えるよう心がけています。

私たちは、受診者様と直接顔を合わせることはあまりありませんが、スムーズで安心な健康診断を受けていただけるよう努めていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いたします。

